

令和8年度 小牛田農林高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点		かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす			
各教科指導目標	国語	○	○	○	地理歴史	○	○	公民	○	○	○	数学	○	○	○	理科	○	○	○
	保健体育	○	○	○	芸術	○	○	外国語	○	○	○	家庭	○	○	○	情報	○	○	○
	農業	○	○	○	商業	○	○	福祉	○	○	○								
様々な生き方・考え方・見方に触れることで視野を広げ、思考力を伸ばすと共に、思考・伝達の柱となる言語能力を養う。		わが国の歴史及び世界各国の文化・風土を尊重しながら、異文化理解を深め、国際社会に向かって積極的に貢献するよう資質を養う。		複雑な現代社会の仕組みを考察し、先哲の考えを取り入れながら、他者を尊重し、主体的に社会に貢献しようとする公民的資質を養う。		数学的活動を通して、様々な事象を数学的に考察し表現する能力を高め、論理的に問題を解決する能力を育てる。		科学的な自然観を総合的に身につけることにより、自然と人間の密接な関わりを探究し、自然災害や環境問題に対応できる能力を育成する。											
心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する能力と健康の保持増進のための実践力の育成を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。		芸術の幅広い活動を通して、芸術的な見方・考え方を働かせ、生涯にわたり生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。		外国語を通じて、外国の文化に対する関心を深め、国際交流への積極的な態度と、基本的な英語を使ってコミュニケーションを図る能力を養う。		社会と家庭・家族とのかかわりについて理解を深め、生活に必要な知識と技術を取得させ、男女が協力して生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。		情報化が社会に及ぼす影響を理解させるとともに、情報技術を適切に活用する能力を養い、社会の情報化に対応できる態度を育てる。											
農業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、様々な課題に対して積極的に解決に当たる能力と態度を育てる。		ビジネスの意義や役割について理解させ、様々な活動を行い、関連する職業とのつながりを意識させ、将来を見通し学び続ける力を育てる。		社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、福祉社会の一員として社会福祉の増進に寄与する実践的な態度を育てる。															
学年共通								各学年指導目標											
指導内容	① あいさつの励行	◎			1年	○新しい環境に適応するとともに、他者との望ましい人間関係を構築する。 ○新たな環境の中で自らの役割を自覚し、積極的にその役割を果たす。 ○入学時に抱いた将来の進路希望を実現させるための情報収集を積極的に行う。													
	② 清楚な身だしなみ			◎															
	③ 清掃活動の徹底			◎	2年	○他者の価値観や個性を理解し、自分との差異を認めつつ受容する。 ○学習活動を通して自らの勤労観、職業観について価値観の形成を図る。 ○進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、検討する。													
	④ 週課題の提出		○	◎															
	⑤ 意見発表・プレゼン等の実践		○	◎	3年	○将来設計に基づき、自分の能力・適性を考慮した卒業後の進路を決定する。 ○進路実現のために取り組むべき課題に対し、計画・実行・評価を的確に行う。 ○厳しい環境の中でも安易な選択をせず、困難を克服するスキルを身につける。													
	⑥ ボランティア・地域の活動への参加	◎		◎															
指導内容		ねらい			指導教科等		実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす								
1年	新入生オリエンテーション	高校での新しい学校生活、学習習慣確立のスタートにあたっての心構えを持つ。			特別活動	4月	1	◎	◎										
	キャリアパスポート作成	年度初めに1年の目標を見通し、年度末には一年を振り返る。			特別活動	4・2月	1	◎	◎	◎									
	基礎力診断テスト	自己の学力と進路適性を理解し、今後の進路選択のための情報を収集する。			特別活動	4月	4	◎	◎										
	進路オリエンテーション	就職・進学の実状をとらえ、自分の希望する進路についての基本部分を理解する。			特別活動	5月	1		◎										
	基礎力診断テスト	4月実施時の成績と、高校入学後の学習の成果である診断・検査の成績とを比較し、今後の進路選択や科目選択の資料とする。			特別活動	1月	4		◎										
	進路別ガイダンス	自己の進路実現に必要な情報を収集し、主体的な取り組みを養う。			特別活動	2月	1	◎	◎										
2年	地域講話	講話を聞き、地域の魅力について理解を深め、地域課題への関心を高める。			総合的な探究の時間等	4月	1	◎	◎										
	キャリアパスポート作成	年度初めに1年の目標を見通し、年度末には一年を振り返る。			特別活動	4・2月	1	◎	◎	◎									
	基礎力診断テスト	自己の学力を理解・分析し、進路選択のための具体的な目標を立てる。			特別活動	4月	4	◎	◎										
	進路別ガイダンス	自己の希望進路についてより具体的な情報を収集し、進路実現に向けて取り組む。			特別活動	6月	1		◎										
	職業人インタビュー・地域探究	社会人の経験談を聞き、社会での役割を考え、社会の一員としての自覚を促す。			総合的な探究の時間等	6月	4	◎	◎	○									
	インターンシップ	実際に身近な企業で職業体験や説明を受けることで職業観を身につける。			課題研究	7月	3	◎	◎	○									
3年	実力診断テスト	自己の学力を理解・分析し、進路選択のための具体的な目標を立てる。			特別活動	1月	4	◎	◎										
	進路オリエンテーション	3年間のスタートに当たり、この1年間で克服するとともに、進路目標実現への決意を新たにす。			特別活動	4月	1		◎										
	キャリアパスポート作成	年度初めに1年の目標を見通し、年度末には一年を振り返る。			特別活動	4・2月	1	◎	◎	◎									
	実力診断テスト	自己の学力と進路適性を理解し、今後の進路選択のための情報を収集する。			特別活動	4月	4	◎	◎										
	進路別ガイダンス	自分の進路に合わせた具体的な説明により、進路意識の高揚を図る。			特別活動	5月	1		◎										
	オープンキャンパス及び職場訪問	希望進路先を訪問し、最終進路設定の参考にする。			特別活動	7月	3		◎	○									
課外講習・模擬面接	それぞれの進路に応じた課題に取り組み、進路目標達成の実力を養成する。			特別活動	7～12月	4	◎	○	○										
社会人講話	社会人の話を聞き、社会に出て行く心構えを学び、次の進路に向けた準備をする。			特別活動	2月	1	◎	◎											
合計時数								45											